一宮西高新聞

発行所
愛知県立一宮西高新聞部
一宮市萩原町串作河田1
電話一宮（68）1191
株式会社 大東社
電話一宮（62）1168

教科書・補助教材・一般書籍・雑誌
文具・事務用品・家具・教材
松清本店
稲沢市高御堂1-2-1
電話 0587-32-0048
FAX 0587-21-7419

今と昔の真清田神社

もうすぐ七夕まつり。友達と行く予定の西高生も多いのではないだろうか。今回は、まつりの中心となる真清田神社を訪ねた。

○真清田神社の歴史

真清田神社に伝わる文献によると、御祭神で天照大御神の子孫である天火明命（あめのほあかりのみこと）が神武天皇三三年に尾張國に鎮（しず）まったことで真清田神社は始まったと伝えられている。神武天皇三三年を西暦になおすと、紀元前六二七年つまり二六四四年前。卑弥呼が生まれる四百年ほど前ということになる。そう考えるとその歴史の長さがよくわかる。鎌倉時代には承久の乱で佐渡に流される順徳天皇が数多くの舞楽面を真清田神社に奉納し、それらの舞楽面は国の重要文化財として保存されている。また、一宮市の「一宮」は真清田神社が尾張國一之宮であることからきており、一宮市章も真清田神社の御神宝である五鈴鏡がもととなっている。

○多くの行事

真清田神社の行事というと七夕まつりを思い浮かべる人もいるだろう。しかし、魅力的な行事は他にもあるのだ。

春、最も重要である桃花祭が行われる。この祭りは天火明命の鎮座を祝うと共に、桃の節句にちなんだ厄払いの祭りでもある。桃花祭では、奉仕する人達は冠に桃の小枝をつけ、飾り馬が練り出し、可愛らしく着飾った子供たちが稚児行列をつくる。境内では流鏑馬神事が行われる。

夏は、四日間の七夕まつりで百万人以上が訪れ、秋には、古式に則った輪くぐりが行われる。冬は新年を迎える行事があり、一年間の行事を合計すると、四八にもなる。その一つ一つに長い歴史と守られてきた伝統が込められている。友達を誘って参加してみてはどうだろうか。

○神職って？

神社の伝統を伝えるためになくてはならない神職、どんな仕事をしているのだろうか。今回、真清田神社の権禰宜（ごんねぎ）をしている塚越さんにお話しを伺った。お聞きした神主さんの一日は意外なものだった。朝、スーツを着て出社し、神社で禊（みそぎ）をしてから袴に着替える。神主の階級は出仕、権禰宜、宮司といろいろあり、階級があがっていくうちに袴の色も白から水色、紫へとかわるそうだ。着替えた後は朝拝があり、祝詞（のりと）をあげて神様に挨拶をする。その後は日によって異なり、境内の掃除や地鎮祭をしたり、車のお祓いや厄除け、安産祈願などの御（ご）祈祷（きとう）をする。そして月に五日ほど交代で宿直があり常に神社には人がいるのだそうだ。

スーツを着て出社することや、階級があること、経理の仕事をするときもあること、稀にクレームがあることを聞いていると、仕事の内容を除けば通常の会社員と似ている気がしてくるが、会社員との違いはどこにあるのだろう。塚越さんは、人に雇われていることと、神に仕えていることとにその違いがあると言う。仕事のやりがいはなにか聞くと人とのつながりや触れ合いだと答えてくれた。神職は神と人との橋渡しという意味の仲執持（なかとりもち）という名前も持つそうだ。

○現代の神社

私たち新聞部が取材に伺った時、境内に神社とは無関係のアニメのコスプレをして写真を撮っている人々が四グループほどいた。この周辺にはコスプレのお店があり真清田神社は人気の撮影スポットなのだという。撮影した写真はインスタグラムなどにアップするそうだ。月に二回という頻度で来ている方もいて驚いた。コスプレの撮影は神社側としてはよいのだろうか。お聞きすると、神社としては何も言わないが、撮影のための場所ではないので、参拝はして欲しい、とのことだった。緑あふれる境内でアニメの鮮やかな衣装をまとって撮影している光景は、日本古来の文化と新しい文化が調和しているように見えた。

さらに、赤ちゃんを連れたお母さんとおじいさん、おばあさんの四人グループにもお話を聞くことができた。お母さんは子供の頃から七五三、高校受験、大学受験、初詣と真清田神社に来て毎年お守りを買っていて、今回は安産祈願をして無事に赤ちゃんが生まれたので報告にきたという。赤ちゃんが健康に、元気に育つようにお願いしたそうだ。

今回の取材で、新しい文化を受け入れつつ伝統を守り伝える現代の神社の在り方が少しみえたように感じた。

権禰宜の塚越さんは、今、御朱印を集めたりして神社がブームだが、神社の公式ホームページなどを見て、神道についての正しい知識を増やし、自分として、日本人としての見方を養っていって欲しい、とおっしゃった。神道は日本にしかない。「君の名は」などで外国の人が神社に興味をもつことも増えてくるかもしれない。神社について質問された時、最低限答えられるようになりたいと思った。

（戸田）

服織神社

神主さんの一日

朝	スーツで出社（袴は神社で着替える）
朝拝	祝詞、神様に挨拶をする
昼	掃除、地鎮祭、地鎮祭、御祈祷など
5時	帰宅
	月に5日宿直がある

◆年中行事のまとめ

一月　歳旦祭
国と国民の幸せを祈る
神楽始祭
神楽を舞う

三月　初午大祭
七福神に扮した児童が神社に練りこむ
勧学祭
新入生を招き、学業成就を祈る

四月　短冊祭
応募歌から優秀歌が選ばれ、神前で詠まれる
歩射神事、試楽祭
五穀豊穣と桃花祭の成功を祈る
桃花祭
真清田神社に因んだ祭り
舞楽神事
雅楽と舞楽が行われる

五月　御田植祭
早乙女による御田植を行う

七月　一宮七夕まつり
繊維の町一宮の発展を祈る
御衣奉献祭
御衣を服織神社にまつり、機業の発展を祈る

八月　輪くぐり
茅の輪をくぐって息災を祈る

十月　太々神楽
神楽を舞う
駒牽神事
境内で十五頭の馬を走らせる

塚越さんと本殿です

論説　国会・内閣の今　共謀罪

あなたは今の国会・内閣をどう思っているだろうか。最近何かとニュースで取り上げられている国会と内閣を皆さんはどのような思いや考えを抱いて見ているだろうか。いわゆる『共謀罪』（テロ等準備罪）法案の強行採決や国務大臣の暴言、さらには、森友学園問題や憲法第九条の改正問題などと、国民の権利を奪いかねない動きが目につく。これは国会や内閣に対する信頼にかかわる問題を引き起こしていると思われる。今回はその中でも与党と野党、さらに政治家同士でも対立が起きている『共謀罪』（テロ等準備罪）を題材にして書いていこう。

過日、共謀罪が衆議院本会議にて強行採決された。議長が投票結果を発表したとき、与党側は大いに喜んでいたが、野党側は議長席まで詰め寄り抗議していた。当然のことだが、抗議したところで結果が変わるわけはない。

そもそも、今の衆参両院における与野党議員の比率は、どちらも与党が三分の二以上を占めている。これはつまり、『共謀罪』などの法律制定はもちろん、日本国憲法の改正案を簡単に国民投票まで持ち込めるということである。もし国民投票で有効票数の過半数の賛成があれば、この日本という国の根底が覆るということなのだ。

『共謀罪』といえばとくに法務大臣の発言が気になる人も多いだろう。国会での質疑応答では大臣に質問しているにも関わらず大臣の補佐が周囲に分からないように助言したり（あるいは、そう見て取れる行動をとったり）、大臣とは別の人物が答えたりしていた。質問者は、「大臣、自分の言葉でお答えください。」とか、「あなたじゃない、大臣に聞いているんです。」などと、怒りを露にしていた。

これはあくまで私の意見なのだが、質問されている人が質問に答えずに他の人物が答えるのはいかがなものか。百歩譲ってはないかと疑った。大臣たるもの、その時行っている議論について全てとまではいかないとしても、九割方を把握しているべきだと思う。しっかりとした知識があったならその場で助言を聞かなくても自身の言葉で答えられるはずである。しかし、今の法務大臣は自分で答えられていない。このことについて皆さんがどう思っているかは分からないが、少なくとも私は今の法務大臣を信頼していない。

今更だがここで、共謀罪について少しだけ説明しておこう。共謀罪とは、今まで未遂、あるいは既遂の状況になってからしか確保できなかった被疑者を、計画段階（被疑者、あるいは被疑者組織が資金を集め武器などを買った状態）で確保できるようにする法律である。

ここからは私が考える共謀罪のメリットとデメリットだ。まず、メリットから書こう。私が考える共謀罪のメリットは犯罪の防止及び抑制だ。理由は、被疑者団体を犯罪の計画段階で確保できるという共謀罪の性質にある。計画段階で確保できるということは、つまり計画段階に入る前から警視庁（警察）、あるいは国家公安部が被疑者団体をマークし、計画段階に入った時に素早く確保できるということである。このことを実行できれば、犯罪の防止ができると同時に被疑者団体の犯罪を行おうという気持ちを削ぐことができるだろう。

次にデメリットだ。計画段階に入る前からマークできるということは、場合によっては一般国民が警視庁や公安に尾行されたり、盗聴器や発信機を付けられたりする可能性があるということになる。これはつまり、国民の人権が侵されるということに繋がりかねないということである。このことについて私は共謀罪を了承できない。皆さんは了承できるだろうか。

さて、ここまで私の意見などを交えて今の日本の国会と内閣について書いてきたが、この日本という国は国民主権の国である。内閣総理大臣や国務大臣を国民の直接投票で選ぶことはできないが、それを選ぶ衆議院議員と参議院議員を自らの投票で選ぶことはできる。つまり、日本の政治を決めるのは私たち国民なのだ。法律が変わり選挙権が満十八歳からとなったが、若者の投票率は低かった。せっかく自分の意見を国に訴えることができるなら、ぜひともその権利を皆さんにも使ってほしいと私は思う。この日本という国を作っていくのは私たち国民なのだから。

（木野）

留学生にインタビュー！

＊プロフィール＊
名前：ソリー（本名は、Solveig Heidtmann）
出身地：ドイツ
年齢：一五歳
趣味：アニメ観賞、ピアノ

＊Q&A＊

Q1．留学しようと思ったのはなぜ？
A．日本のことが大好きで、おもしろいと思ったから。日本人は優しい！いろいろ経験したい。
Q2．日本文化で興味があるのは？
A．着物を着てみたい。あと、古い物に興味がある。
Q3．日本語を学ぼうとしたきっかけは？
A．五年前にアニメ（灼眼のシャナ）を見たときに、日本語は美しいと思った。それから一年学校で勉強した。
Q4．日本でやりたいことは？
A．祭りに行きたい！
Q5．西高についてどう思う？
A．みんなすごく優しい！楽しい。授業はよくわからないけど、結構おもしろい。
Q6．好きな日本の食べ物は？
A．ラーメン！
Q．・・・ラーメンは中華かも？
A．うーん・・・でもドイツにはラーメンはないから、日本で食べた中で一番おいしいのは、ラーメンです！
Q7．部活は弓道部に所属されているそうですが、どうですか？
A．楽しい！かっこいい。これからずっと続けていきたい。
Q8．夢はありますか？
A．・・・日本に来ることが夢だったから・・叶って幸せ。だから、今夢はない。
Q9．最後に、西高生にメッセージをお願いします！
A．いろいろ日本語を勉強したいから、たくさん話したい。話したい人は遠慮なく話して下さい！

取材中、先生にモデルだね、と言われフフン、得意げに髪をかき上げて見せたソリーさん。とっても明るいソリーさんとお話しすることができて、元気を貰えました！ソリーさん、取材を引き受けて下さってありがとうございました。ソリーさんは一二月までしか西高にいません。ソリーさんと喋ってみたい方は、この記事からソリーさんのことを知って、是非話しかけてみましょう！

（宮﨑）

みなさんは、今一年九組に留学生が居ることをご存じですか？明るくて、笑顔が素敵な方なのでご存知の方も多いかもしれません。私たちは、彼女に直接インタビューをしてきました。これを読んで、留学生・ソリーさんについてもっと知ってください。

作文

「AIがプロ棋士に勝利」

「AIは東大に合格できるのか？」みなさんもこのような記事を見たことがあると思う。一見明るいようにも見えるこれらの記事。しかし私には将来の危険性がはっきりと伝わってきて、恐ろしいと感じられる。▼「すでに人々は、携帯という名のコンピューターに支配されている。」これはある本から引用したものである。私はその言葉が忘れられなかった。確かにその通りである。例えば、「パソコンがフリーズしたらじれったくなる。」とか、「スマホを見ていないと一日充実して過ごせない。」とか。このようなことを、みなさんも一度は思ったことがあるだろう。これらの例は、コンピューターが人々を操っているといっても過言ではないと思う。▼コンピューターは、もともと人々が少しでも楽になるために作られたものだったはず。人々を助ける役割で作られたものだったはず。しかし、今はどうだろう。人々とコンピューターの立場が逆転している。今は、コンピューターが人々の気持ちや感情を作っているような気がしてならない。これからどんどん技術が進歩してコンピューターが進化してしまったら私たちはどうなってしまうのだろうか。▼最初に話題に出した「AI」がこの先どんどん進化してしまったら、人間の脳、人間の体以上の能力をもってしまい、人々が思っていた以上のことを行って、暴走してしまうだろうと私は考えている。また、企業で使われているロボットや機械も、技術がもっと進歩して発展したら、人力なんていらなくなってしまいそうだ。労働者が全員ロボットになってしまう日も近いかもしれないし、そうなればロボットが人々の仕事を奪ってしまうかもしれない。考えただけで恐ろしいし、そんな未来はきてほしくない。▼そのようなことを私は思ってしまうけれど、技術者たちはもっと便利に、もっと効率よくしたいと考えて、どんどん技術は進歩してしまうのだろう。そうすれば、私たちはもっともっとコンピューターに依存してしまいかねない。そうはならないためにまずはコンピューターと距離をとることが必要である。コンピューターは何かをする際の一つの手段と考えたほうがいい。これからのコンピューターとの付き合い方を見直すべきだと思う。

（淺沼）

すくーるフォト♪
スクールあるばむ
頭も体もやわらかく
稲沢市祖父江町
石田写真館
0587-97-0059

おコメの新しい価値を創出し、生活文化の向上に貢献する。
Rice Creation
共和食品グループ
株式会社名古屋食糧
〈本社〉名古屋市中村区名駅南二丁目2番24号 TEL.052-581-0351(代)
［事業所］愛知県一宮市・瀬戸市・海部郡飛島村・東京都千代田区・大阪府東大阪市・石川県羽咋郡　［関連会社］株式会社静岡食糧／静岡県静岡市　RICE CREATION(THAILAND)CO.,LTD.／タイ現地法人
事業内容｜◎米穀製品の企画・開発・製造・販売 ◎直販店舗の運営（おにぎり・お弁当販売、レストラン） ◎インターネット直販サイトの運営 ◎給食受託 ◎仕出し料理、ケータリングサービスの企画・運営

お昼休みに
手作りパンの販売をしています。
NPO法人 ふれあいサロン
さん・さんガーデン
一宮市北方町北方字内沼257-1
☎(0586)84-3305

高校生新聞

八月三日、四日に「NIE全国大会名古屋大会」という新聞に関する催し物が開催されます。記念事業として、愛知県の三つの高校の新聞部がそれぞれ新聞一ページを作成するという中日新聞社の企画があり、それに私達も参加する事になりました。他の二校は桜花学園高校と半田高校です。

四月中旬から制作が少しずつ始まりました。まず初めに中日新聞記者によるレクチャーがあり新聞記者の仕事や記事のネタの探し方などを聞くことができ勉強になりました。五月に入るとテーマや取材計画について話し合いました。普段一つの記事を一人でテーマを決めて書いているので、部員全員で話題を持ち寄って話し合うという事が新鮮でした。「犬猫の殺処分」「一宮活性化計画」「高校生の交友関係」などがテーマとして挙がりましたが、本町商店街で空き店舗が増えているという事で「本町商店街活性化について」になりました。

六月四日、取材場所が本町商店街に決まり、本町商店街会長であり一宮商工会議所の議員でもある安藤鰹節店の社長に取材しました。私達の質問一つ一つに丁寧に答えて下さり今の商店街が抱える問題や活性化を妨げる壁などを知る事が出来ました。本町商店街では利用者を対象に街頭インタビューを行いました。内容は商店街の利用頻度やアクセス方法、市の政策について思う事、商店街にあったらいいなと思うものなどです。小学生からお年寄りまで約二十人から意見を聞かせていただきました。その中で「マルシェ」という言葉をよく耳にしました。マルシェとは真清田神社前でハンドメイド品等を売る月に一度の市場です。手作りの可愛い小物やポーチなど役立つ物が売られていて、とても賑わっています。

そして、利用者の中にコスプレイヤーが目立ちました。商店街の中にスタジオのある写真屋があり、コスプレイベントも開かれているようでした。商店街利用者の中でも、このために商店街に来たという意見もありました。

また、お店の方々にもお話を聞かせていただきました。商店街の誇りについての質問に、ここにしかない店がありその店でしか作れない物（オーダーメイド品など）がある、それを求めて来る常連さんがいる事だと答えてくださいました。駅やデパートなどに人が流れていく一方で、そこにしかない物を求め商店街に来る人達と、そのために仕入れ、技術を磨いていく商店街の方々との繋がりはとても固く、暖かいものに感じました。

日程の都合がつかずメールでのやり取りとなりましたが、一宮市役所の経済振興課の方からも協力をいただきました。

普段の部活動では校外に出てこんなに多くの方から話を聞いたり、私達の書いた記事を一般の新聞購読者に読んでいただく機会がないので、緊張したり不安に思う事もありましたが、今後の部活動に活かしたい貴重な体験となりました。**八月三日の「中日新聞・夕刊」に私達の書いた記事が掲載されるので**、読んでいただけると嬉しいです。（加藤）

■■■■■■■

取材の感想

実は集合に少し遅れてしまった部長さんです。はい、申し訳ありませんでした。皆様も読める字でメモをして、くれぐれも時間を間違えないように。（野口）

インタビューした方々は、話しかけてみると気さくな方が多くて、とても助かりました。お忙しい中貴重な時間を割いてくださりありがとうございました。この場を借りてお礼申しあげます。（伊藤翔）

商店街は確かにシャッターが閉まっている所もあったけど、商店街を利用する人やお店の方々は活気があり、取材を通して本町商店街の魅力に触れることができました。（加藤）

本格的な取材は初めてで緊張しましたが、始まると思う以上に楽しくまたやってみたいと思いました。この企画を考えてくださった中日新聞の方々、取材に答えてくださった方々本当にありがとうございました。（大牧）

突然のインタビューにも快く答えてくださる方が多かったです。とても楽しかったです。温かい心を感じました。一宮市民ではないので、本町商店街には数回しか行ったことがありませんでしたが、魅力のある商店街だと感じました。（大森）

地元の人に直に話を聞くことができてよかった。（齊藤）

取材をすることが初めてだったので緊張しましたがとても楽しかったです。改めていい商店街だと思いました。以降もこんな感じで取材ができるようにしたいです。（木野）

たくさん貴重な経験をさせていただきました。取材に快く協力してくださった商店街の皆様、ありがとうございました。（戸田）

全く知らない方達からお話を聞けるなんてことは普段ないので貴重な経験だったと思います。快く答えてくれた方が多かったのでありがたかったです。（宮崎）

実際に経営を営む方のお話を聞けて、僕の知らなかった現実を知ることができました。本町商店街は僕が幼いころからお世話になっている空間です。これからもお世話になります！（伊藤丈）

初めて街頭インタビューをしました。上手くいかないことはたくさんありましたが、楽しい取材でした。もっと経験を積んでいきたいです。（淺沼）

前期生徒会役員始動

前期生徒会役員にアンケートを取りました！今年は一年生が多いですが、今年の西高祭などを導いてくれる方達です！全員で協力してより良い西高にしましょう！

①学年・組・名前
②所属部活
③趣味
④座右の銘
⑤西高生へ一言

会長
①一年五組　小椋　里菜
②卓球部
③テレビを見ること、音楽を聴くこと
④勇気一瞬　後悔一生
⑤頼りない生徒会長ですが、全力を尽くしますので応援よろしくお願いします！

副会長
①二年二組　石田　詩織
②美術部・自然科学部
③漫画を読むこと
④初志貫徹
⑤無事西高祭を終えられるよう頑張ります！それと、後期こそ二年生は二人立候補してほしいものです。

書記
①一年四組　黒田　千尋
②弓道部
③音楽を聴くこと
④一日一善・正射必中
⑤半年間生徒会書記として頑張っていきたいと思います！四人で力を合わせて西高を盛りあげていきます！

会計
①一年三組　伊藤　栞七
②弓道部
③読書
④急がば回れ
⑤半年間、頑張りますのでよろしくお願いします。

旧キャプテンからメッセージ

旧キャプテン（部長）から一、二年生に向けてメッセージを頂きました！三年生の意思を引き継ぎ、一、二年生の皆さんはこれからもしっかりと部活に励んでいきましょう！

【ソフトボール】
ソフト部の元気な声がグラウンドから聞こえてくると、私たち三年生もしっかりやらなきゃと思えます。これから暑くなるけど、暑さに負けず頑張れ！

【陸上】
久しぶり。これから厳しい練習がたくさんあるとは思いますが、決して、やめることなく最後までやりきってください。応援しています。

【ソフトテニス男】
お久しぶりです。特に言えることもないんですが、とりあえず楽しんでください！そうすれば結果がついてくる！たぶん！

【ソフトテニス女】
これから辛いことがたくさんあると思うけど、「部活続けてきてよかった～！」と思える日が来るから、諦めずに頑張って下さい。応援しています！

【硬式テニス男】
変な先輩ばかりで特に何も教えてあげられなかったけど、大会でいい結果を残せるように頑張れ！あっという間に引退だから毎日の練習を楽しんで！

【硬式テニス女】
やっほ～♪3年が引退して不安もあるだろうけど、みんななりきっと大丈夫☺みんならしく元気いっぱい笑顔いっぱいがんばってね！ずっと応援しています♥

【ハンドボール男】
引退してからわかることもあります。特に、今の時期の練習は辛いけど、今後に生きてくる大事な練習です。優勝目指して頑張れ！良い報告待ってます！

【ハンドボール女】
みんな大好き♥ハンド楽しんでる？怪我しないことと楽しむことを忘れずに頑張れ！皆なりきっといいチームが作れるから。応援してるよ！

【弓道男】
あんまり部長らしい部長じゃなかったけどついてきてくれてありがとう！これからは部長を中心として頑張って下さい！いい結果が残せることを期待しています。

【弓道女】
約一年間、一緒に弓道ができて、楽しく、うれしかったです。これから、先輩たちはいなくなり、部を引っ張っていかねばならず、始めは大変かも知れませんが、直に慣れます。これからも弓道を楽しんで！

【新体操】
新体操部のみんなへ。メンバーがなかなかの個性派ぞろいで、毎回の部活とっても楽しかったよ！またみんなの演技が見られるのを楽しみにしてます♥

【野球】
自分たちにもっと自信を持ってミスしても前を向き続ければ必ず結果はついてくる。お前たちならできる。**尾張の頂点とって来い！**

【剣道】
苦しくなる時期もあると思いますが、楽しむことを忘れないでください。仲間、先生方に支えられているということを忘れないでください。頑張ってね！新人戦観に行きます（多分）

【バレーボール男】
部活ができる時間は終わってしまえばずごく短いものです。なので自分たちで何が必要なのか、何をすべきなのかを考えて頑張って下さい。応援しています。

【バレーボール女】
辛いこと、苦しいこと、やめたくなることもあると思います。でも…それ以上に楽しいことや得るものが沢山あるはず！応援しています！

【バスケ男】
接戦になった時、勝つために一番必要なことは、今まで練習してきたことにどれだけ自信を持てるか、だから、自信を持てるまで諦めず、やり続けろ。

【バスケ女】
授業後残って勉強している時、外からみんなの声がすると心からみんなとバスケしたくなります（笑）私たちは誰よりみんなのこと応援してるよ！頑張れ！大好き！

【サッカー】
僕たちの代では県大会へ行けず、悔しい結果に終わってしまったから、最後に後悔しない結果にするために日頃の練習一つ一つを真剣に全力で！

【バドミントン男】
一・二年生はとてもやる気があって、いつも熱心だと感じていました。これからも県大会目指して頑張って下さい！応援しています！

【バドミントン女】
毎日部活お疲れ様！暑くなってきて体力的にも大変だろうけど、一日一日の練習を大事に、がんばってください。応援しています。

【ラグビー】
日々の練習は大変だと思うけど、もう一度県大会の舞台に立つために、頑張って下さい。

【水泳】
あの私が入部した時**よ**りみんなのおかげで大きな部になれた。だ**が**、これからだ**と**思**う**。この危機を乗り越えた時また成長できる。

【卓球男】
これからも試行錯誤して密度の濃い練習にしていって下さい。今年のメンバーなら団体の県もいけると思うから頑張って！

【卓球女】
お久しぶりです。お元気ですか。いろいろ大変だと思いますが、みんなで仲良く楽しくがんばってください。応援しています！

【自然科学】
研究、金魚・カメの世話、ビオトープの手入れなどなど、色々忙しいと思うけど、部員全員で協力して素晴らしい部にしてくれることを期待しています。がんばってください！

【放送】
数十年に一度のレベルの変革についてきてくれてありがとう！一人じゃどうにもならないことが多かったからとても助かりました。技術を全部伝えることは出来なかったけど、何かあったらいつでも質問してね！

【美術】
美術部は文化祭の出し物があるので大変だけど、がんばってね！文化祭で美術部の活動が見られるチャンスがあるので、ぜひ来てください！

【茶華道】
日本文化、四季、和菓子を楽しみながら、みんなで仲良く思い出を作ってね！文化祭がんばってね！あと、正座で捻挫しないように気をつけてね（笑）

【国際関係】
オービル先生や部員のみんなとゲームをしたり、文化祭の準備をしたりとても楽しかったです。今度こそは英語力上げられるように頑張ってね！

【箏曲】
箏曲部の皆さん！休日学習教室の日は、いつも皆が頑張って練習している音が聞こえてきます。昨年とは制度も変わり、混乱もあるかも知れませんが頑張って下さい！

【吹奏楽】
三年生はいつも君らの音を聞いてるからね♥こんな私たち三年生と短い間だけど共に過ごした君たちなら、様々な困難を乗り越えて行ける。困ったことがあったらいつでも来なさいね。応援しています。

【新聞】
日々の出来事から様々なことを感じとり、見聞を広げてください。凝り固まった思考より柔軟（軟らかすぎないように）な頭で考えましょう。

【演劇】
新入部員を迎えて夏大も間近。大変なこともたくさんあると思うけど、君たちらしさを最後まで貫いていい劇を作って下さい。ゲネ楽しみにしてるね！応援してます、がんばって！

■■■■■■■

編集後記

初めて記事を書かせていただきました。とても楽しかったです。はやく慣れられるように頑張ります。　戸田

初めて記事を書きました。滅茶苦茶大変でした・・・。記事書くこと難しい。これから頑張ります！　淺沼

新聞部楽しい！取材からいろんな考え方や知識を得られるので新鮮です♪　宮崎

今回はいつもと違い取材に行ったり記者の方からの話を聞けていい経験になりました。　加藤

うむ！部員が沢山増えてうれしいのだ。　野口

取材をして、取材をうけた。良き経験になりました。　伊藤丈

我二年目突入す。今者部員増えたり。故に我且つ皆喜ぶこと限りなし。　伊藤翔

語彙力ないので大変でした。取材が大変だということが分かりました。　木野

記事を書くのは思ったよりも大変でした。ですが、楽しかったです。　大牧

取材がとても楽しかったです。次回は記事作りに参加したいです。　大森

やや幽霊になりつつあるので、次からがんばります。　齊藤

MY SCHOOL DAYS

西田 孝二 先生

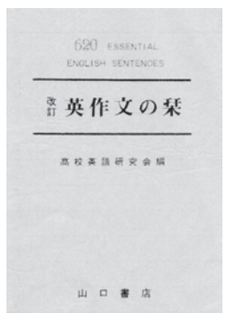
（一）わが母校

「学年＋三時間」の家庭学習。予習は授業を受けるための絶対条件。入学当初から、ことあるごとに言われていました。授業は張り詰めた雰囲気の中で行われ、緊張感がありました。学年に応じて早朝から業後まで確認テスト、補習が行われ、三年生では夏休みに一週間の学習合宿も行われていました。

学習だけでなく、部活動も盛んでした。学校は市の中心部にあったのでグラウンドは本当に狭かったのですが、そこで野球部、サッカー部、ラグビー部、陸上部が練習をしていました。そのような環境の中でも、レベルの高い部活動も幾つかありました。特に、野球部は私の在学中だけでも二回甲子園に出場しました。学習も部活動も西高と重なるところがたくさんあります。

（二）もがき苦しんだ三年間

学習と部活動の両立を目指す進学校で、私はいわゆる「おちこぼれ」でした。意欲はあるけれど、学習ができない。長続きしない。毎日の授業が苦痛で本当によく叱られていました。予習をやっていないときが多かったので、ひやひやしながら授業を受けていた記憶があります。ただ、「英作文の栞」だけは時間をかけてやりました。入学当初から何十回もテストが行われていたので、620の英文だけは覚えました。これが自分の英語の原点です。



諦めなければ夢はかう

何事においても頑張れなかった自分でしたが、大学に対するこだわりだけはありました。力がなくても、どうしても入りたい大学を見つけることができました。その大学を見つけられたことが高校時代の唯一の収穫でした。

（三）そして、浪人

卒業後、到達しなければならない学力はは っきりしていたので、もうやるしかありませんでした。環境を変えることから始める覚悟を決めていました。親元を離れ、予備校に通いました。午前中は講義。昼食を挟んで、午後も講義。夕食後は学習室で自習。毎日この繰り返しでした。自分でやってみて、理解できないところは先生に教えてもらう。これを徹底してやりました。途中、思い通りに結果が出なくて、焦りを感じることがありましたが、自分がやっていることを信じるしかありませんでした。

（四）今だから分かること、言えること

当時、母校の野球部の生徒は終礼後、走って活動場所に移動していました。練習を始めるのはどの部活動より早く、どの部活動より工夫をしていました。限られた場所でも限られた時間でも工夫をすれば実力をつけることができるということです。学習も部活動も同じです。やらされるのではなく、自ら積極的にやる姿勢があれば、可能性は無限だということです。

学習と部活動の両立を目指して、同じ姿勢で、同じ情熱を傾けてください。そうすれば夢は叶います。頑張ってください。

大学時代 北海道にて

2年 修学旅行

二〇一七年五月一七日～一九日にかけて、一宮西高校の二年生は山口・広島へ修学旅行へ出かけた。

一日目、普段の生活より早い時間の名古屋駅での集合に戸惑ったが、全員無事に新幹線に乗り込んだ。そして新幹線内で談笑しながら山口へと向かった。山口に着いて、まず最初に向かったのは秋芳洞である。そこでは神秘的な鍾乳石を見ることができた。人間の手が加えられていない鍾乳石は、どこか哀愁を漂わせており、幻想的かつ魅力的だった。秋吉台では、国内最大級のカルデラ台地を実際に歩いてみて、大自然からパワーをもらうことができた気がした。松陰神社では、吉田松陰が幽閉されながらも講義した家屋を見学した。夜、ホテルではクラスレクが行われ、まだ話したことのない人とも親しくなることができたので、クラスの団結力が高まったと思った。

厳島神社

二日目、陶芸教室で手びねりをして、僕は不器用なりに工夫をしてマグカップを作った。その後、サイクリングで、僕達の班は萩城下町、旧福原家萩屋式門、口羽家住宅、旧明倫館跡、春日神社、田中義一銅像を見学した。特に、口羽家住宅では、ボランティアの方が説明をしてくださり、武家屋敷の仕組みや口羽氏の当時の地位などを詳しく教えていただいた。庭から見える景色がとても綺麗で、日本の原風景とはこれを言うのだろうか、と思った。サイクリングを終えた後、宮島にフェリーで向かった。宮島に着き、フェリー乗り場を出た瞬間、鹿のお出迎えを体験した。奈良以外の観光地で鹿を見るのは初めてなので、新鮮だった。

原爆ドーム

三日目、厳島神社を見学した後、宮島に別れを告げ、広島探索へ出かけた。原爆ドームという、七二年前の悲惨な光景が今も残されていて、平和とは何か、考えるきっかけとなった。

修学旅行を終え、何を得て、何を思うだろうか。全力で楽しんだ者、計画通りに行かなかった者、お土産を買うのに必死だった者、思い出は様々であろう。しかし、この修学旅行で得た経験は、これからの人生で役に立つはずだ。（伊藤翔）

1年遠足 リトルワールド

四月一九日、高校生活が始まって一月もたたない間に遠足があった。場所はリトルワールド。一人一人が不安と期待を持ちながら行われた。

中学校で経験のない初めての自由な遠足、みんなやること見るものは様々だった。ある班は、サーカスを見てから急いで館内を一周し、各国の家の違いに驚いたり、またある班は、ドイツのソーセージを食べ、ドイツの民族衣装を着て楽しんだ。僕が一番印象に残っていることは、トルコアイスを食べたことだ。あの溶けそうで溶けない、滑らかでありながらもちもちとした弾力は癖になる。みんなと一緒に食べると更においしく感じた。

また、勉強にもなる遠足だった。もちろんヨーロッパやアメリカ、アフリカの文化や歴史について深く知ることができたと思うが、それよりも自由の中でもしっかりと決められたことを守るということを一番学んだと思う。見学するときのマナーを守ったり、集合時間に間に合うように時計を見て行動する。自由の中でルールを守ることが一番大切ではないかと思った。それに、そのことをしっかりとやることができる西高生はさすがだと思った。

この遠足はクラスの仲間との絆を深めることのできた素晴らしいものになったと思う。仲間との絆を深めた西高生が次の行事でどれくらい大きなパワーをだせるのかとても楽しみだ。（大牧）